



なしの木

夢と笑顔と「ありがとう」が
あふれる 長幡小学校
令和7年 4月21日
第4号

上里の子供たちを育てる合言葉：あいさつ、返事、靴そろえ、集中した清掃（膝つき清掃）

【校長賞】提出された冊数：0冊

1冊以上提出した児童数：0名

4月18日現在

『読書・手伝い・外遊び』

前号（3号）では、『早寝・早起き・朝ご飯』の大切さについて、陰山英男 著『突き抜ける子の育て方』から紹介しました。今回もその続きとなります。子供たちの持っている能力を十分に引き出す参考になればと思います。以下、一部抜粋して掲載します。



基本的な生活習慣を身に付けられたら、次の合言葉は『読書・手伝い・外遊び』です。この3つは、脳が喜ぶ基本作業と言ってもいいでしょう。

勉強は突き詰めると言語活動です。国語はもちろんですが、算数の文章題や理科、社会の問題も文章の内容を理解しないと解けません。また、自分の考えをきちんと人に伝えるときにも言葉を使います。

たくさんの言葉を持っている子供は表現力も豊かです。その子供の持っている言葉の数で、精神面の活動も違ってきます。

ところが、日常生活で使う言葉の数は非常に少ないものです。話したり聞いたりしているだけでは、なかなか語彙を増やすことはできません。その語彙を増やすのに役立つのが読書なのです。

家の手伝いをするためには、「何のためにするのか」という目的を考え、「どうやってするのか」という手順を頭の中で組み立てます。これは、論理的な思考を養うことを助けます。



また、細かい作業をすることで手先が器用になり、毎日続けることで根気と責任感が養われます。自分の仕事を与えられると、遊びたくても我慢して手伝いをしなければなりません。この何かを我慢することも、今の子供の生活に欠けているものです。

人間の脳もコンピュータと同じです。たくさん情報をインプットして、センサーを働かせることで、能力が高まっていきます。センサーは働かせれば働かせるほど精度が高くなります。この力は、外遊びで体を動かし、五感を育てることで身に付きます。五感が発達してくると、読書と同じように、イメージ力が育ち、表現力が増すのです。さらに体を動かすことで反射神経も育ちます。

反射神経はゴールデンエイジと言われる5～12歳ころまでに育つと言われています。反射神経がいい子供は、けがをしにくくなり、体も柔らかくなります。



学校には慣れたかな？

4月17日（木）1年生を迎える会を実施しました。8日の入学式から10日余りが経ち、給食も始まる等少しずつ学校生活に慣れてきていることと思います。1年生を迎える会では、6年生と1年生が手をつなぎ、アーチをくぐって入場したり、2年生がアサガオの種をプレゼントしたり、



1年生歓迎の気持ちを伝えました。1年生は、欠席する児童がほとんどいません。教室からは、元気な返事が職員室までよく聞こえてきます。

1年生も一緒に校歌を歌いました。



1年生と手をつないで入場

全国学力・学習状況調査

4月17日（木）、6年生を対象とした全国学力・学習状況調査（国語・算数・理科）が行われました。

6年生は真剣な表情で問題と向き合っていました。（右の写真）結果が届くのは、7月下旬ころかと思われますが、結果から学力の状況を把握し、分析をとおして本校の学力向上につなげてまいります。※4年生以上を対象とした埼玉県学力・学習状況調査は、5月8日（木）に実施する予定です。



お世話になりました



飯塚教諭→定年退職



神村教諭→寄居小学校へ



青木教諭→狭山特支学校へ

4月18日（金）、体育館にて離任式を開催しました。令和7年度当初の人事異動で本校から転出等された3名の職員に来校していただき、児童から感謝の気持ちを伝えることができました。3名の職員からは、本校での思い出等を語っていただき、感動的な離任式となりました。3名の職員からは、保護者の皆様にも大変お世話になったことを、紙面を借りてお伝えいたします。

※石田教頭（賀美小学校へ校長として転出）は、授業参観・懇談会、PTA総会ということで参加することができませんでした。